

令和6年度学校評価について

■あてはまる ☑どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない

総合点と評価について 保護者、児童、教職員アンケートの「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が全体に占める割合を「満足」と捉えて総合点とし、下の表に従い評価とする。

評価	A	B	C	D
評価基準	80点以上	70点以上 80点未満	50点以上 70点未満	50点未満

学校評価①～④

生徒指導	思いやりの気持ちの取組	<p>①子どもは、思いやりの気持ちを持ち、相手の気持ちを考えて行動している。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>96</td> <td>95</td> <td>84</td> <td>92</td> <td>A</td> </tr> </table> </div> <p>児童の「あてはまる」と回答した割合が高くなっています。本校では、いじめ防止週間を設けて毎学期にいじめ防止のための授業を行ったり、情報モラル週間を設けて相手のことを考えた情報機器の使い方を指導したりしています。また、行事や委員会、PBLの活動などで異学年との交流する機会を増やし、相手の気持ちを考えて活動する機会を設定しました。今後もいじめ防止のための取り組みを充実させていきたいと考えます。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	96	95	84	92	A
保護者	児童	教職員	総合	評価								
96	95	84	92	A								
生徒指導	相談体制づくり	<p>②子どもは、困ったときに信頼できる人に相談できる。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>90</td> <td>85</td> <td>95</td> <td>90</td> <td>A</td> </tr> </table> </div> <p>児童の「あてはまる」と回答した割合が高くなっています。本校では、全学年を対象にした教育相談を実施しています。また、毎学期、学校生活アンケートを実施し、児童の実態把握に努めています。4年生以上では、スクールカウンセラーと接する機会を設けています。今後も、担任だけでなく学年主任、教務主任、養護教諭、スクールカウンセラー、管理職が丸となって教育相談できる体制づくりを行っていきます。困ったときにはいつでも気軽にご相談いただければ幸いです。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	90	85	95	90	A
保護者	児童	教職員	総合	評価								
90	85	95	90	A								
教育課程・学習指導	努力点の推進	<p>③子どもは、総合的な学習の時間や生活科で、「自分で考え、進めよう」という気持ちで取り組んでいる。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>89</td> <td>91</td> <td>95</td> <td>92</td> <td>A</td> </tr> </table> </div> <p>児童の「あてはまる」と回答した割合が高くなっています。本校では令和4年度より、総合や生活科の授業でPBLに取り組んでいます。子ども自らが問いを見付け、ゴールに向かって探究を進めていきます。これまで継続的に取り組んできた成果として、高学年を中心に、教職員に言われなくても「こうしてみたい」と自分で考え、主体的に活動を進める様子が見られます。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	89	91	95	92	A
保護者	児童	教職員	総合	評価								
89	91	95	92	A								
教育課程・学習指導	自分で考え、思いを適切に伝える	<p>④学校生活全般において、自分なりに考え、考えや思いを他者に分かるよう、伝えることができる。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>82</td> <td>88</td> <td>74</td> <td>81</td> <td>A</td> </tr> </table> </div> <p>保護者・教職員の「あてはまる」と回答した割合が少し低くなっています。低学年を中心に、自分の思いや考えをうまく言葉にできず、円滑なコミュニケーションが図れないためにトラブルになるケースが見られます。今後も、人との関わりを大切にした取り組みを充実させていきたいと考えます。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	82	88	74	81	A
保護者	児童	教職員	総合	評価								
82	88	74	81	A								

令和6年度

教育課程・ 学習指導	失敗から 学んでいるか	⑤うまいかない体験からも、学びがあることに気付くことができる。								
		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73</td> <td>92</td> <td>100</td> <td>88</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・教職員の「あてはまる」と回答した割合が高くなっています。 本校では「うまくいかなかったときこそ子どもが学ぶ機会」と教職員が捉え、多くの場面で児童に任せ、委ねて活動に取り組ませています。初めのうちは時間が掛かりますが、子どもが新たな壁にぶつかっても、教師が価値付けることなどを通して失敗から学ばせ、自力で乗り越えられるよう支援を続けていこうと考えています。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	73	92	100
保護者	児童	教職員	総合	評価						
73	92	100	88	A						
保健管理	健康増進への 取組	⑥子どもは、健康に気を付けて生活している。								
		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95</td> <td>88</td> <td>93</td> <td>92</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>本校では、体育委員会が外遊びを企画したり、なわ跳びや一輪車、竹馬などを用意したりして、子どもたちが運動に親しめるようにしています。保健委員会が毎月ハンカチ・ティッシュを持ってくるよう呼び掛けています。一方で、残念ながら廊下で遊んだり走ったりして危ない様子が見られるので、今後指導していきます。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	95	88	93
保護者	児童	教職員	総合	評価						
95	88	93	92	A						
情報提供	情報発信	⑦学校は、デジタル化を進め、学校・学年便り・ホームページなどで、学校の様子を伝えている。								
		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>総合</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98</td> <td>-</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>本校では、配付物や出欠席の連絡、PBLの活動の様子ををデジタル配信しています。保護者の方には、徐々にですがスマートフォン等で「いつでもどこでも見られる」といったデジタル化のよさが浸透してきています。今後も、保護者の方が使いやすい方法を考えデジタル化を進めていきたいと考えます。なお、紙面を希望の方は、担任にお伝えください。</p>	保護者	児童	教職員	総合	評価	98	-	93
保護者	児童	教職員	総合	評価						
98	-	93	96	A						

学校関係者評価委員会（学校評議員会）での意見

子どもが新たな壁にぶつかっても、教職員が適切にサポートしていることで、子どもたちが自分の力で探究を進めていこうという様子が分かった。子どもたちが自ら学ぶためには「動機付け」を大切にしてほしい。

また、「良いクエスチョン(問い)の立て方」を学ぶことは、大人になったときにも役立つ能力なので身に付けてほしい。異学年での発表や交流する機会を増やしたことで、発表の仕方が身に付いてきていることが分かった。

一方で、低学年を中心に、離席やトラブルが多いことが気になった。子どもたちの自己肯定感が低くならないよう配慮しつつも、「いけないことは、いけない」とルールを躊躇せず教えていってほしい。

